

活動名：第1回後川防災キャンプ（四万十市教育委員会に再委託）

活動趣旨：児童生徒が各家庭で被災し、避難所となった学校へ保護者と避難してくるケースを想定した防災キャンプとし、学校の避難場所としての役割、避難場所での児童生徒の役割を中心に模擬体験を通して学ぶ。キャンプを通し、学校も含め、地域で起こる可能性のある災害や被災時の対応等の理解、保護者・地域住民との連携の強化を目的とし、避難所での生活体験など、様々な防災教育プログラムを実践することにより、今後の非常時に行動できる生徒を育成する。

実施日：平成25年8月6日（火）～平成25年8月7日（水）

実施場所：四万十市立後川中学校

参加範囲：四万十市立後川中学校全学年、利岡小全児童、同小中学校保護者及び地域住民
利岡保育所園児・職員

参加人数：149人（後川中学校生徒19名、教職員11名、利岡小学校児童28名、教職員11名、保育園児20名、保育所職員3名、保護者・地域住民47名、四万十市他関係機関10名）

日時	プログラム	プログラム詳細
8月6日		○後川地区避難訓練
7:30	後川地区生徒避難訓練 朝食づくり	生徒は家庭で被災し、学校に避難する ○朝食準備：かんぱんとスープ（非常食）
9:30	学習①活動の趣旨理解 *学校	○防災キャンプについて説明を聞き、自分たちの役割を有事について、東日本大震災のビデオを視聴し、巨大地震への備えや安全について考える。
10:30	学習② ・四万十市の防災対策 ・避難方法のまとめ	○四万十市の防災対策について学ぶとともに、自宅から避難所（学校）までの被災時の避難ルートについてシュミレーションを行いまとめる。
11:10	学習③昼食づくり	○（非常食活用）中学生がリーダーとなって非常食の準備・作り方・試食までの手順で実体験する。 ※中学関係者以外への配膳の支援も行う。
13:00	学習④避難生活用具づくり	○避難生活における「食」・「住」の体験 ・段ボール活用の生活空間づくりやテント設営他 ・かまどの設置等 ※自校が避難所になることを想定し、8月の暑い時期に、食べること、住むことについて、どのようなことを考え、安全面、衛生面、機能面を考えて活動すればいいのかを中学生の立場・視点で考える。 ※利岡小全校児童及び教職員参加
15:00	学習⑤命を守る体験	○応急手当疑似体験（市消防署による指導） ・応急手当、搬送体験、心肺蘇生法 ※利岡小高学年児童及び教職員、利岡保育所園児・職員参加。
17:00	学習⑥夕食づくり	○炊き出し体験 ・かまど使用（飯盒炊飯・カレー作り） ・食器（どんぶり・スプーン） ※被災直後の想定で、非常食を簡単に尚且つ衛生面

18:00	学習⑦寝床づくり	<p>にも配慮し、スムーズな食事ができるよう協力して行う。</p> <p>○宿泊の準備（学校の指導）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寝場所の工夫（プライバシーに注意）
19:00	学習⑧シャワー体験	○清潔の保持のためと、あらためて水の大切さを体験するためにプールの水をバケツ等を使用して行う。
20:00	学習⑨1日のまとめ	○班で1日の活動についての反省点等をまとめる。
21:00	学習⑩寝る体験	○夏場の暑い中で、自宅と違う状況の中で、周囲にも配慮する気持ちを持ちながら寝る体験を実施。
8月7日		
6:30	学習⑪起床・朝食づくり	○非常食を活用し、手早く迅速に行動する。
8:00	学習⑫宿泊体験まとめ	○前日から宿泊後までの活動について、個人及び各班で良かった点や反省点などについてまとめる。
10:00	学習⑬自力帰宅	○生徒は各自避難所である学校から自宅へ自力帰宅。

活動名：第2回後川防災キャンプ（四万十市教育委員会に再委託）

活動趣旨：児童生徒が学校で被災したケースを想定した防災キャンプとし、学校への避難所の設置当初から中学生が主体的にその運営に関わっていくというスタンスで、非常時の避難者の受入・介助等の体験行い、防災に対する意識を高め、地域での役割の自覚を育成する。又、小学生は可能な範囲で中学生のサポートを行うこととし、中学生の活動を間近で見ることで、自身が中学生になったときに担う役割について学ぶこととする。第1回同様避難所での生活体験などに加え、被災時の地域での情報収集活動等についてもプログラムに組み入れ、1回目よりも中学生の主体的活動を重視し、非常時に自らが行動できる力の育成を図る。

実施日：平成25年10月3日（木）～平成25年10月4日（金）

実施場所：四万十市立後川中学校

参加範囲：四万十市立後川中学校全学年、利岡小全児童、同小中学校保護者及び地域住民
利岡保育所園児・職員、（※1部の時間帯に川登小児童・大川筋中学生参加）

参加人数：156人（後川中学校生徒19名、教職員11名、利岡小学校児童29名、教職員11名、保育園児20名、保育所職員3名、保護者・地域住民48名、四万十市他関係機関15名）

日時	プログラム	プログラム詳細
10月3日 9:30	後川地区避難訓練 学習① 避難所設営	●地域住民の避難開始 生徒は学校で被災し、避難所等設営を行う *1回目の学習を手本に生徒が主体となって活動する。
10:30	学習② 避難者名簿作成	○地域住民を避難所に迎え入れる（生徒・教員で分担） ・駐車場の準備（車での避難） ・受付テント設営（運動場） ・休憩所（体育館）の設営 ○体育館で聞き取り調査（中学生が行う） ・地域別避難者名簿づくり
11:00	学習③ 食づくり	○昼食づくり 非常食利用（ごはん・ふりかけ・味噌汁） （中学生が中心となり、作る班と配膳班が活動）
12:00	学習④ 食配り	○昼食を配る（中学生） ・配膳、回収班の活動（ゴミ袋等）
13:00	学習⑤ 講演 （災害について）	○災害時の対応（講師より学ぶ） 短時間豪雨、洪水、家屋の倒壊、土砂崩れ、土石流等について ※講師：県土木部防災砂防課、中村土木事務所、 四万十市防災対策課
15:00	学習⑥ 危険箇所確認	○身近な危険箇所の確認と学習（フィールドワーク） ○地域の危険箇所の把握と確認 ・班による自転車巡回 ・危険箇所の確認（現場写真撮影含む）
16:00	学習⑦ 夕食準備	○中学生による非常食米利用、豚汁づくり ・共助による活動

17:00	学習⑧ 夕食	○夕食配膳（中学生の配膳、回収班の活動）
17:30	学習⑨ 引き渡し	○小学生の帰宅（引き渡し体験）（教員・中学生）
18:00	学習⑩ 宿泊体験準備	○宿泊の準備 ・寝場所の工夫（プライバシーに注意） ・清潔の保持（身体拭き体験）
19:00	学習⑪ 学習のまとめ	○1日のまとめ（個人及び各班での活動）
21:00	学習⑫ 就寝	○眠る体験（寒さへの対応）
10月4日		
6:30	学習⑬起床・食づくり	○朝食：非常食利用（パンとスープ）
8:00	学習⑭まとめ	○宿泊体験のまとめ（個人及び班でのまとめ）
9:00	学習⑮避難所片付け	○関係者と協力して片付け作業の実施
10:00	学習⑯ ・火災防火訓練 ・豪雨体験 ・土石流3D体験	○市消防署及び関係機関の協力のもとで、火災、豪雨、土石流等の体験学習を実施。
12:00	全日程終了	
13:00	自力帰宅	○中学生が自力帰宅